

## ご挨拶

### 最前線で最善を尽くす ～Achieve the best at the frontline!～

第 54 回日本血管外科学会学術総会

会長：松田 均

明石医療センター 院長補佐・心臓血管外科部長  
(前 国立循環器病研究センター 血管外科部長)

第 54 回日本血管外科学会学術総会 (2026 年 5 月 27 日 (水)～29 日 (金)、グランフロント大阪北館 ナレッジキャピタル) のプログラムをお届けします。

国立循環器病研究センターは科学技術の向上と社会課題解決を目的とした国立研究開発法人で、独立行政法人として国からの援助を受けることなく運営されています。6つのナショナルセンターの一つで、2025年の心臓血管外科手術が心臓外科 730 例、小児心臓外科 280 例、血管外科 480 例であった high volume center です。

緊急手術に積極的に取り組んでおり、救急車の応需率は 95% 前後です。年間 240 例の胸部大動脈手術の 35% が緊急手術です。弓部置換術を術者として行える 6 名の外科医はステントグラフト内挿術の指導医資格も有しており、一人ひとりの患者さんに最善の治療を行うことを目指しています。

まさに臨床の最前線に立つ我々が、悩み、そして喜び、時に深く反省する血管外科のことを皆さんと議論し、分かちあいたいと思い、「最前線で最善を尽くす ～Achieve the best at the frontline!～」をテーマにしました。

今回は、公募演題を中心にして議論を深めることを目指し、セッションの目的を明確に定義して、上質の演題をゆっくり拝聴するシンポジウムと討論時間を十分に取ったパネルディスカッションを設定しました。セッションのテーマは 29 名のプログラム委員に選定して頂いた 66 題の要望演題から応募の多かったテーマを選びました。

上級セッション・要望演題セッション・一般口演での口演発表は 306 題、ポスター発表は 444 題を採用しました。地方会から選抜された 7 題による V-1 を開催し最優秀演題 1 題を選出します。研修医・学生セッションの 29 題からは優秀演題 4 題を選出する予定です。

なお、胸部 open、TEVAR、腹部、末梢血管の各分野内のセッションができるだけ重複しないように工夫しましたが、採用演題数が多いために完全には重複が解消できていないことをお詫びします。

駒井宏好副会長は国際委員会委員長を、会長自身も国際委員を務めており、JSVS の国際化を目指すことにしました。日本語の発表でも理解してもらえるように AI 翻訳を導入します。さらに、招待ではなく海外からの一般参加を募ったところ 30 題余りの応募があり、各国の中心的な血管外科医からも応募がありました。

東 信良理事長による理事長講演と、Linda Harris 次期 SVS 会長と Armando Mansilha 現 ESVS 会長による Presidential Address を併せた「Addresses from the presidents of SVS, ESVS, and JSVS」を開催します。この中で駒井宏好副会長から「海外学会との関係性についてのアンケート調査」の結果を報告していただきます。

国立循環器病研究センター関係者による医療安全講習会 (市川肇先生) と指導医講習会 (山本晴子先生) の他、上級セッションの一部を外科領域講習会として開催します。ダイバーシティ・働き方改革委員会企画では「女性血管外科医にとっての専門医」を取り上げ、禁煙推進セミナーも開催いたします。また、教育セミナーでは学術委員会で会長が提案した「普段の血管外科手術のレシピ」をテーマとして採用していただきました。よくある、ごく普通の手術についてベテランの講師に解説していただきます。

JAST 特別企画は JAST 委員会で企画が進んでいますが、これに先立って Jürg Schmidli 先生 (Past ESVS

president) による教育講演「Vascular Surgery training in the rapidly evolving endovascular era」を JAST の協力を得る形で開催します。

また、特別講演は大社啓二先生（大阪学院大学特任教授）にお願いしています。大社啓二先生は北海道日本ハムファイターズの前オーナーで、日本ハム球団の札幌への移転や北海道ボールパーク F ビレッジの建設に関わってこられました。“あの”選手や“あの”監督のお話も聞かせていただけるかもしれません。

キタの中心、梅田の貨物駅跡で「うめきたプロジェクト」が進んでいます。グランフロント大阪は 2013 年 4 月に開業した JR 大阪駅に直結する商業施設です。昨秋からは隣接するグラングリーン大阪の新しい広場、ホテル、商業施設も順次オープンしています。

会場直結のターミナルまで、新大阪駅からは JR で一駅、大阪国際（伊丹）空港からはバスで 30 分、関西国際空港からは JR で 45 分です。学会参加の後、情報交換を行う場所は会場周辺に溢れています。

13 年ぶりに近畿で開催される第 54 回日本血管外科学会学術総会に参加して、学会と大阪の街を楽しんでください。